

2026年6月2日

関係機関の長 殿

東京女子大学現代教養学部長  
山本 真吾

教員の公募について（依頼）

時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は本学の教育・運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度本学では、下記の要領で教員を公募いたします。

つきましては、貴学・貴機関関係諸方面へ御周知いただくとともに、適任者の推薦についてよろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

記

【本学が求める教員像】

東京女子大学では、大学として、また現代教養学部として求める教員像を、以下のように定めています。

[大学として]

キリスト教の精神に基づきリベラルアーツを柱とする女性のための高等教育を推進していくため、本学の建学の精神、教育理念・目的を理解し、専門知識と教育力、研究能力を有し、社会貢献への意欲を持ち、管理運営にも主体的に関わることのできる教員。

[現代教養学部として]

1. 学部の目的、人材養成の目的を達成させるために、教育研究活動に積極的に取り組む教員。
2. 教育の質の向上に努め、積極的に教育に関わることができる教員。
3. 専門教育とともに、リベラルアーツ教育の柱である全学共通教育にも熱心に取り組み、全人的教育に取り組むことができる教員。

【募集要項】

1. 職位・人員 特任教授または特任准教授または特任講師 1名
2. 所属 国際社会学科
3. 専門分野 アメリカ研究（社会史・ジェンダー史）
4. 任期 2027年4月1日～2030年3月31日

任期ならびに再契約については、本学「特任教育職員規程」第9条の規定に従います。

「第9条 第4条第2号を資格とする特任教員（注：今回募集の特任教員）の任用期間は3年とする。ただし、再契約の必要が生じ、任期満了の3か月前までに学校法人東京女子大学と本人との間に合意が成立した場合は、任用期間2年1回を限度として再契約をすることができる。」

5. 採用予定日 2027年4月1日
6. 担当科目 「アメリカの社会と文化」「ジェンダー国際関係論」「アメリカ研究（社会史）Ⅰ・Ⅱ」「2年次演習（国際社会）Ⅰ・Ⅱ」「3年次演習（国際社会）Ⅰ・Ⅱ」「4年次演習（国際社会）Ⅰ・Ⅱ」

習(国際社会)Ⅰ・Ⅱ」「知のかけはし科目」

他に、大学院の授業科目を担当していただくことがあります。

7. 応募資格 (1)博士号またはそれと同等の研究業績があること。アメリカ社会史に関する優れた業績があること。  
(2)日本語を母語としない者の場合にも、日本語母語話者と同等に日本語で教育・学内業務ができることに加え、英語でも授業ができること。  
(3)大学院を担当する能力があること。  
(4)海外研修の引率ができること。

8. 特任教育職員の待遇 (2026.4.1 現在)

雇用形態：契約職員（有期教育職員。基本常勤。）

担当授業コマ数：原則として、学部授業週 5 コマ

給与：年俸額 講師 450 万円、准教授 500 万円、教授 600 万円（年俸の 12 分の 1 の額を毎月振り込む）

通勤手当：実費（原則として 6 か月定期代）

入試業務手当：入試業務に従事した場合は、教育職員の入試業務従事に対する手当に準じて支給する

就業時間参考：9：00～18：05（左記は 1～5 時限の授業時間）

休日：土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日。その他本法人が定めた日等

社会保険：私学共済（健康保険、年金）、雇用保険、労災保険

定年：特任教員が満 70 歳に達する日の属する年度末を限度とする

9. 選考方法

(1)第 1 次選考 書類審査

(2)第 2 次選考 第 1 次選考合格者に対してのみ面接審査（担当科目のシラバスの説明および当該シラバスの任意の回の模擬授業（日本語または英語）をお願いする可能性があります。）

実施日時等は、第 1 次選考合格者に、第 1 次選考結果と併せて通知します。その際に、本学での教育についての抱負等を文書として提出することをお願いします。

10. 応募書類

- (1)履歴書（形式は任意。高校卒業より記入。連絡先メールアドレスは必ずお書きください。なお、選考の過程で本学指定の用紙への記入を改めてお願いすることがあります）。  
(2)研究業績一覧（形式は任意。選考の過程で本学指定用紙への記入を改めてお願いすることがあります）。主要な業績 5 点以内にマルを付してください。  
(3)主要な研究業績（業績一覧にマルを付したもの 5 点以内。抜刷、コピーも可）。  
(4)主要な研究業績の要旨（業績一覧にマルを付したものの、各 800 字程度）。  
(5)応募者に関する所見を求め得る方 2 名分の名前及び連絡先。（書式自由、ただし、所属、電話番号、及び電子メールアドレスを記載すること。ここでの所見を求め得る方は、応募者の現所属または過去の所属機関において、応募者の研究・教育活動を直接把握している者とし、親族その他応募者と特別な利害関係を有する者は除く。）

1 1. 応募書類送付先

〒167-8585 東京都杉並区善福寺 2-6-1

東京女子大学 現代教養学部 国際社会学科 宛（簡易書留とし、表に「教員応募書類在中（アメリカ研究（社会史・ジェンダー史）」と朱書きしてください）

1 2. 応募締切日 2026年7月24日 必着

1 3. その他

- (1) 応募書類は、原則として返却いたしません。
- (2) 応募に際して提出された個人情報は、本学の個人情報保護規定に従って適切に処理し、人事選考以外の目的では使用しません。
- (3) 面接時の旅費、宿泊費、オンライン設備の準備等は、応募者の負担となります。
- (4) 審査結果は、選考終了後に通知します。
- (5) 本学は教員の女性比率を5割（現在4割）とする採用方針に則り、女性の積極的な応募を歓迎します。
- (6) 問い合わせ先 国際社会学科主任 根本和幸 [kokusaishakai-apply2026b@lab.twcu.ac.jp](mailto:kokusaishakai-apply2026b@lab.twcu.ac.jp)  
必ず件名に「教員公募：アメリカ研究（社会史・ジェンダー史）」と付して下さい。  
※を@に読み替えてください。

以上